

## 平成 27 年度 同好会事業報告

地歴 同好会 世話係名 大塚秀樹 会長名 新津朋典

| 月 日       | 実 施 し た 事 業 内 容  | 参加人員 |
|-----------|--|------|
| 5 月 1 日   | 同好会発足会，世話係・会長会   | 18 名 |
| 7 月 1 2 日 | <p>第二回地歴同好会<br/>「須坂製糸業の遺構を訪ねて」<br/>講師：涌井二夫先生（須坂市誌編纂室編纂専門員）<br/>須坂市に残る製糸業の遺構を訪ね，須坂における製糸家たちの偉業をしのびながら遺構に残る建造物の特色を学んだ。<br/>新町通り～三街道分岐点，綿幸呉服店～山七～信濃電気発祥の地～吉番館～芝宮～クラシック美術館～蔵の町交流センター～まゆぐら～横町通りの町並み～旧信陽銀行～遠藤製糸～須坂市資料保管庫～</p>                          | 7 名  |
| 7 月 3 1 日 | <p>第三回地歴同好会<br/>「日本の近代化を支えた製糸業に学ぶ<br/>その 3：蚕都上田歴散歩」<br/>講師：涌井二夫先生（須坂市誌編纂室編纂専門員）<br/>昨年度の岡谷地方に続き，今年度は上田小県地方の製糸業の遺構を見学し，この地方における製糸業の隆盛や当時の人々のしごとぶりを学ぶことができた。講師の井上先生からはていねいな説明をいただいた。<br/>藤本蚕業歴史館～小岩井紬工房～信州大学繊維学部～笠原工業常田館製糸場～シナノケンシ～上田駅（繭の女神像）～</p> | 15 名 |

今年度の地歴同好会も，夏期巡検をメインの活動として研修を深めました。

夏休み中の七月三十一日（金），須坂市誌編纂室編纂専門員の涌井二夫先生を講師にお迎えして行いました。昨年に引き続き，日本の近代化に大きな役割を果たした養蚕と製糸業において，今年は，須坂・上高井地方と並び，長野県内でその役割の大きかった上田・小県地方の製糸業について研修を深めました。

上田市にある藤本蚕業歴史館では，この地方が蚕種業を中心に栄えていた様子を知ることができました。養蚕や製糸業の一番元になる，蚕の卵を生産し各地の農家へ販売していた蚕種業について知ることは，新しい発見でした。近所にある小岩井紬工房では，絹糸を使って紬を織る機織りの様子を見学できました。信州大学繊維学部や笠原工業常田館製糸場を見学し，製糸業の隆盛を感じ，午前中の見学が終了しました。

午後は、丸子にあるシナノケンシの絹糸紡績資料館を見学しました。シナノケンシで行っていた絹糸紡績について学ぶことができました。その後、上田駅にある繭の女神像を見学し、帰途につきました。



今回の巡検では、上田小県地方の蚕種業や製糸業の隆盛を知り、一昨年度・昨年度からの巡検で学んだことをさらに深めることができました。講師の涌井先生からは見学場所を紹介していただくと共に、興味深いたくさんのお話をお聞きすることができました。充実した巡検になったと思います。最後に、快く講師をお引き受けていただいた涌井先生、そして巡検にご参加いただいた先生方をはじめ一般の皆様方、ご参加いただいた全ての皆様に感謝の意を表し、地歴同好会からの報告とします。

(東中学校 新津朋典)